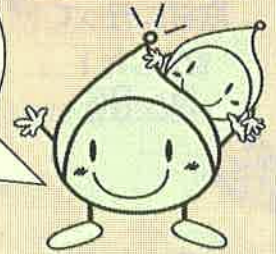


ささえ

奇数月発行

「人と人をつなぐ」
「人と街をつなぐ」
「人と地域をつなぐ」
ファシリテーター大募集!



エールくんとミニさぼちゃん

定年後の地域デビュー



「地域の課題解決は僕たちがひと肌脱ごう！」



現役時代培った技を
地域のために・・・
できることを地域へ

**人生楽しく
やりがいのある
地域貢献活動を！**



退職者の中には**経験と実務を積み、個人としての力量が高い方、人脈を生かしたネットワーク作りもできる方**がたくさんおられます。また、**組織作りも経験**されています。

地域を安心、安全な街にするために市民活動団体やNPOを立ち上げ、活動してみませんか？縮小していく行政機構の代わりとなるべき事業を行う市民グループの設立が期待されます。キャリアを積んだ退職者の責任ある社会参加が求められています。もちろん若い人や会社にお勤めの方の技も必要ですが、家計負担の多い方々には一歩が踏み出せない事情もあります。

立ち上げの順序

- ①仲間を集める（個人の技術、能力、経験を活かしてできることを話し合う。）
- ②自分のまちを知る ③会則を作る ④総会を開く ⑤法人の場合は関係機関に届出をする

平成29年10月17日、「NPO法人通津地区自然と環境を守る会」が5年以上にわたり県民活動を続け、功績が顕著である団体に贈られる「山口きらめき財団理事長表彰」を受けられました。

「NPO法人通津地区自然と環境を守る会」は、長年地域の河川清掃や里山、史跡等の整備、校外学習支援等のまちづくり活動を行い、その功績が認められました。地域の環境や文化財を守るために、地域を愛し、ボランティアに励んでおられます。おめでとうございます。



取材に行っ
てきました！
No.86

えにし 縁の糸



和文化、和の心、おもてなしの心を一緒に学び楽しみませんか？

「縁の糸」は平成28年から活動開始、今年4月に市民活動団体に登録されました。40代から80代までの女性で構成。郷土の歴史と和文化の伝承活動を行うために、地域在住の達人に講師を依頼し、毎回学ぶテーマを決めて活動しておられます。

今回、取材にお伺いした回のテーマは「着物コーディネート」。参加者は7名。はじめに講師の嘉屋栄子さんが、経験をもとに着物に関する知識や、どういう時にどんな色や柄の着物を選んだらいいのか説明をしながら、たくさんの写真を見せてくださいました。

説明の後は、参加者の皆さんが持参した着物や帯を貸し借りしながら、コーディネートを実践。嘉屋さんが一人ひとりに対して「この模様だと訪問着ね。」「この着物と帯だと、披露宴にも行けるわね。」「あなたにはこの色味が似合う。」など、アドバイス。姿見鏡の前で、着物を羽織ったり、帯を巻いたり、参加者の皆さんもそれぞれに感想を話し合っておられました。

「歴史や和文化を伝承することで、人生の先輩方にますますお元気でいていただけたら。」と代表の大久保さん。今後は着物を着ていろいろなイベントに参加したり、団体主催でお茶会なども開催したいとのこと。



会員募集中！



代表の大久保さん(左)と講師の嘉屋さん(右)



「縁の糸」へのお問い合わせは、いわくに市民活動支援センター ☎0827-44-0288

協働のまちづくり

報告



まちが好き、人が好き
～自分たちのまちに愛着と誇りを持つために～

H29年9月23日(土)開催

相模女子大学人間社会学部教授松下啓一氏を講師に迎え「協働のまちづくり」講演会を開催しました。従来の「協働」は、役所とNPOと一緒に活動することと位置付けられ、一部の課と仲の良いNPOがするものと考えられてきました。しかし、少子高齢化が進み、税収が減り、地域住民(市民)も公共のために存分に力を発揮することが求められるようになりました。「野球は9人でやろう!」というキャッチフレーズのように、行政、議会だけでなく、観客席にいた市民も一緒に野球をやろう!多様な団体がそれぞれのポジションを守りつつ、連携プレーをして「協働のまちづくり」を進めたらいいというお話でした。



市民活動さぼーと講座

報告

H29年9月27日(水)開催

「～伝わる!文章力～ 広報紙の作り方のコツ」

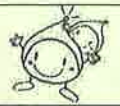
中国新聞社 岩国総局長 ^{おがきよしの}小笠喜徳氏を講師に迎え、広報紙を作るための効果的なポイントやワザを学びました。参加者は会場いっぱいとなり、皆さんの広報紙作りの関心が高いことがうかがえました。講座は、文章の基本から記事のレイアウトまで、作成のノウハウを学ぶ二時間。実際に、当日の朝刊や原稿資料を使って、具体的な事例を交えながら、大変わかりやすく有意義な講座となりました。

ポイントは、簡素簡潔でわかりやすい文章を第一に、目を引く見出しや写真を活かしたレイアウトに工夫を凝らすこと、常にメモを取り言葉の引き出しを充実させること。

最後に『文字の先にいる読者の気持ちを想って書くことが大切』と締めくくられました。



市民活動団体のイベント情報

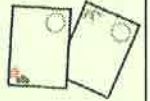


スタンプラリー第4回「かるたで探そう 玖珂の町」

玖珂町郷土かるたにのっている場所に行ってみよう！ 歴史を学んだあとは、みんなでお昼ごはん＆昔の遊び
〇×クイズにチャレンジしよう！ 玖珂にはどんな人たちが暮らしていたのかな？



- 日 時：平成29年11月11日（土）9：00～（雨天の場合は翌日）
- 集合場所：玖珂公民館2階（玖珂町 5980）
- 参加費：300円（軽食代含む） ●対 象：小学生以上（できるだけ親子参加で）
- 問 合 せ：玖珂町ふるさと再生の会 ☎090-8719-5422（河北）
- 申 込 先：岩国市教育委員会玖珂支所 ☎0827-82-5445



「こども点字教室」

点字のかんたんな仕組みを学び、点字のしおりを作ります。

- 日 時：平成29年11月11日（土）10：00～12：00
- 場 所：岩国市中央図書館 ●参加料：無 料 ●定 員：20名（先着順）
- 講 師：岩国点訳あすなろ会 ●問合せ・申込み：岩国市中央図書館 ☎0827-31-0046



宇野千代生誕 百二十年 もみじ茶会

- 日 時：平成29年11月18日（土）10：00～15：00（雨天の場合は翌日）
- 場 所：宇野千代生家（岩国市川西 2-9-35）
- お茶券：500円（抹茶、お菓子、生家入館料含む）
- 問合せ：宇野千代顕彰会 ☎0827-41-0960（島津） ☎090-9469-5478（安達）



市民活動さばーと講座

ファシリテーター養成講座「人と人をつなぐ」「人と地域をつなぐ」「人と街をつなぐ」コツ 地域と人をつなぐファシリテーターの手法をまなびませんか？

- 日 時：平成29年12月2日（土）14：00～ ●場 所：錦福社会ウィータ
- 日 時：平成29年12月3日（日） 9：00～ ●場 所：岩国市中央公民館 第5講座室
- 講 師：岩永 真一 氏（福岡テンジン大学 学長） ●参加費：300円（2日間）

「地域の未来を設計する！」～ 地域づくり計画の策定方法を学ぶ ～

「安心」「安全」な「住み良いまち」にしていくための地域づくり計画の立て方、意義、課題把握方法を学ぶ

- 日 時：平成29年12月9日（土） 13：30～16：00
- 場 所：岩国市中央公民館 集会場 ●定 員：30人（先着順） ●受講料：無 料
- 講 師：坂本 俊彦 氏（山口県立大学 社会福祉学部 教授）



第3回 登録団体交流会

市民活動団体同士の繋がりを作るための交流会です。団体の情報を交換しましょう。

- 日 時：平成29年11月17日（金） 18：30～20：30
- 場 所：岩国市中央公民館 第1講座室
- 内 容：団体からのお知らせ・市民活動カフェ2018について・山口ゆめ花博 ゆめアクション概要説明会

市民活動カフェ2018

いわくに市民活動支援センター登録団体による「市民活動カフェ2018」が開催されます。テーマは「市民の心をより一つに」です。カフェでは、活動紹介、体験講座、スタンプラリー、おもちゃの交換ひろば、3B体操、フラメンコダンス、小糠踊り、ブラスバンド、ジャズ演奏、岩国高校広瀬分校の生徒による「オオサンショウウオ人形劇」等多彩なイベントが行われます。

また、当日は応援したい団体に1枚100円の応援チケットの販売もあります。ご来場をお待ちしています。

- 日 時：平成30年1月14日（日） 10：00～15：00
- 場 所：岩国市中央公民館 全館 ●入場無料



《おもちゃや絵本を寄付してください！》

市民活動カフェでは、「おもちゃ交換ひろば」を開催します。お持ちいただいたおもちゃを会場にあるおもちゃと交換するイベントです。壊れや汚れた箇所のないおもちゃや絵本がありましたら寄付していただだけませんか。ご協力お願いいたします。（いわくに市民活動支援センター：岩国市中央公民館3F まで）



助成金ニュース

①内容・対象②助成金額・件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

青少年を育む市民活動支援募集

- ① 青少年の健全な育成のための、自然とのふれあい、ボランティア育成、国際交流等の活動。
- ② 1件当たり10～50万円
- ③ 平成30年1月12日(金) 必着
- ④ 公益財団法人 マツダ財団 事務局 TEL:082-285-4611 FAX:082-285-4612

岩国市中山間地域お助け活動支援事業

- ① 本市の中山間地域に所在する小規模・高齢化集落等において、草刈り・清掃活動を集落住民とともに実施する地域外からのサポートグループに対して、実施に必要な経費を助成します。
(小規模・高齢化集落とは、19世帯以下で、高齢化率が50%以上の集落)
助成対象グループ：活動を実施する集落以外の地域に所在する5名以上のグループ。
- ② 上限5万円(2年目以降継続分は3万円) 助成率は、対象経費の10/10
- ③ 随時募集
- ④ 岩国市中山間地域振興課 TEL:29-5012 または、各総合支所・支所の地域振興課

2018年度環境市民活動助成

- ① 自然環境の保護・保全、野生動植物種の保護・保全、体験型環境学習活動、環境の負荷を軽減する生活をテーマにした活動、緑化植花活動、清掃活動。
- ② 助成の種類・団体により、上限20万～400万円
- ③ 平成29年11月30日(木)
- ④ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 TEL:03-6238-3872



岩国のへえ～ 81の巻

「錦帯橋下近県盆踊競演大会」

昭和30年前後、世間の人気を博しているものに「錦帯橋下近県盆踊競演大会」がありました。県内はもとより広島、四国、島根の隣接した県からも参加があり、岩国で行われる催しもので最大であり、入賞商品もある豪華版でした。市内でも毎年予選大会が行われ、各地の盆踊りチームが出場をかけて競いました。

花笠、日の丸扇日傘をかざし、歌と音頭にあわせ踊りぬく様は鮮やかで美しくどれも甲乙つけ難いものでした。昭和31年の第6回の大会では経費に40万円を要し、観衆から10円のむしろ代をとって賄ったそうです。昭和26年の第一回大会から毎回2万人～6万人の観客で賑わいました。

参考資料：岩国郷土誌稿・岩国ニュース興風時報



編集後記

このところ、気温も下がり、長雨の後の山や木々は、ほこりや余計なものをまとうことなく、自然の色が美しい季節となりました。

人間関係においても本来の色を出し、純粹に、色々な考え方を持った新しい人との交わり方、関わり方を本音で楽しめたらいいなと思います。

先日の「協働」の講演会において『温かいまなざしだって協働』と教えて頂きました。

お互いに「ありがとう!」と言ったり、言われたりする関係作りをしたいものです。(やな)

支援センター利用状況(9、10月)

・印刷・コピー・大判プリンター	220件
・相談	30件
・登録団体数	90団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>